



黒崎中 防災の日

10月18日は、黒崎中学校の「防災の日」でした。

日本は、自然災害が多い国と言われています。台風や大雨、地震など、すぐに思い当たりますね。実際、世界中で起こる地震の25%は、日本や日本近海を震源としたものです。そんな日本にありながら、岡山県は、「晴れの国」と言われるように気候も穏やかで、大きな地震もあまり経験がありません。だからこそ、この「防災の日」の取り組みは、大切なんです。

今年2回目の避難訓練は、小中学校が連携して、実際に巨大地震が起こったときの適切な避難行動を身に付ける目的で行いました。

【緊急地震速報】巨大地震を感知して、本格的な揺れが到達する前に、防災（一次避難）無線やTV・スマホにチャイム音が流れます。音を聞いたら頭を守って身を隠します。

【 室外避難 】地震の揺れが収まったので、グラウンドへ避難します。（二次避難）大きい揺れで、ガラスが割れているかも知れません。火災ではないので、慌てずに行動します。黄色の安全旗が、避難集合場所の目印。

【 津波警報 】南海トラフ地震など大きな地震が海底で発生した場合、津波発生可能性があります。

今回は、津波がくると想定し、沙美小へ児童を迎えに行きました。

一旦、グラウンドで合流し、北校舎の3階に垂直避難しました。

【 講話 】終わりに、沙美学区自主防災組織会長原田直樹さんから、地震発生時思っていた行動がパニックで取れなかったこと。沙美小学校の荒川校長より想定にとられない。などの話を聞きました。

【振り返り】真備の水害を読み物にした「僕に出来ること」を読んでマイタイムラインを考えたり、アルファ化米の保存食を作り、給食時間に試食しました。



災害伝承 10年プロジェクト

講師 石川 弘子 先生（いわき震災伝承みらい館 いわき語り部の会）

演題 「いわき市久之浜町の 東日本大震災からの復興 そして防災について」

東日本大震災の津波の映像、復興の様子ビデオ映像から始まり、「自分の命は自分で守る」「一日一分で構わない。災害発生したらどう行動するか考えることの積み重ねが大事」「より早く、より遠く、より高く避難を」など経験を語られました。また、バケツリレーを一緒にやり、互いに協力することを教えてくださいました。この会の進行を新執行部が行い、立派に務めました。黄色いハンカチへのメッセージ届けます！

